

令和5年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる  
「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和6年4月25日現在

研究課題名	ロシア会計基準の国際化とリージョナリズム	
申請者	氏名	所属機関・職
	齊藤 久美子	和歌山大学経済学部・教授

## 研究成果の概要

1985年、ソ連においてゴルバチョフのソ連共産党書記長就任、その後のペレストロイカ、1991年末、ソ連邦の崩壊というなかで、ロシア及び旧ソ連諸国は市場経済化を目指して努力してきた。しかし、その過程においてビジネスの言語である会計は大きな役割を果たした。

2000年、プーチン政権の樹立、ロシアは石油ガス天然資源をもとに経済を発展させる。そして、会計基準もロシア基準を国際基準に変容させていく。そこにリージョナリズムからグローバルリズムへの変容も見られる。

2022年2月、ロシアとウクライナの軍事衝突。おおむね西側諸国はウクライナ側に立ち、その中ではロシアは孤立感を深める。経済制裁を受け、SWIFTからは排除された。

しかしながら、ロシアの経済力は「盤石」であり、成長してきた。

以下、企業を以下の方法で分析している。

ロシア会計再考 - 国際化の中で

貸借対照表分析

損益計算書分析

キャッシュフロー分析

しかしながら、現在の世界情勢の中で、現在の「国際財務報告基準」がそのまま今後も、適用されるのかは、申請者の個人的意見ではあるが、疑わしいと考えている。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

齊藤久美子「ロシア会計の歴史と現代から見た問題点」WORKING PAPER SERIES, 23-01, 2023年12月

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）  
なし